

海外感染症流行情報 2020 年 5 月

東京医科大学病院 渡航者医療センター

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの流行は 5 月 25 日までに世界 188 の国と地域に波及しており、感染者数は 530 万人、死亡者数は 34 万人にのぼっています(米国ジョンホプキンス大学 2020-5-25)。

アジアではインドで感染者数が増加しており、一日 5000 人前後の発生数になっています。西ヨーロッパでの流行は鎮静化してきており、各国が緊急事態措置の解除に動き出しました。米国では流行がピークを越えています、いまだに一日1万人前後の感染者が発生しています。ロシアも一日に 1 万人の感染者数が報告されており、流行はピークに達してきています。南米では 5 月中旬から感染者数が急増しており、ブラジルではサンパウロ市などを中心に 1 日 2 万人以上の感染者が発生しています。アフリカでの感染者数は地域全体で約 7 万人ですが、今後、増加するものと予想されています(WHO Covid-19 situation report 2020-5-24)。

日本の外務省は海外感染症危険情報を 5 月 22 日に発出し、インド、アルゼンチン、南アフリカなど 11 か国をレベル3(渡航中止勧告)に引き上げました(外務省安全センターホームページ 2020-5-224)。この結果、渡航中止勧告が発出されている国はアジア、中東、ヨーロッパ、北米、中南米、アフリカなどの 100 か国以上にのぼっています。外務省としてこの状態を 6 月も継続する予定です。

・アジア:東南アジアでのデング熱流行状況

東南アジア各地でデング熱の流行が報告されています。インドネシアでは 3 月までに 3 万 9000 人の患者が発生しており、昨年同期よりやや増加しています(Outbreak News Today 2020-5-7)。シンガポールでも 5 月中旬までに患者数が 7000 人で、昨年同期の倍近い数になっています(WHO 西太平洋 2020-5-21)。マレーシア、フィリピンでは 4 万人、ベトナムでは 2 万人を超える患者数が報告されていますが、昨年よりも少ない数になっています。東南アジアの多くの国はこれから雨季に入るため、蚊に刺されない対策をとるようにしてください。

・アフリカ:コンゴでエボラ熱流行が終息へ

コンゴ民主共和国の北東部で 2018 年から流行していたエボラ熱の流行が終息に向かっています。今年に入り患者数は減少し、4 月に 7 人の患者が確認されましたが、5 月は患者発生がみられていません(WHO Outbreak news 2020-5-21)。2018 年からの累積患者数は 3462 人(疑い含む)で、このうち 2279 人が死亡しました。

・中南米:ブラジルでのデング熱流行状況

新型コロナウイルスが流行するブラジルで、今年はデング熱の患者数も増加しています。5 月上旬までに患者数は 100 万人にのぼっており、とくにサンパウロ州が多くなっています(Outbreak News Today 2020-5-21)。現地の医療機関は新型コロナの対応に追われており、デング熱患者にまで手が回らない状況です。現地に滞在中は新型コロナの予防とともに、デング熱予防のため蚊に刺されないよう十分に注意してください。